

横浜市立大池小学校 中期学校経営方針

中期計画期間	平成 22年 4月 ~ 平成 23年 3月	
学校教育目標	<p>豊かな心もち、たくましく生きる 大池の子</p> <p>自ら学び、自分の思いを適切に表現できる子を育てます。(知)</p> <p>思いやりの気持ちをもって行動する温かい子を育てます。(徳)</p> <p>心身共に健康で、あらゆる命を大切にすることを育てます。(体)</p> <p>地域の人や物を大切にし、社会に役立つとすることを育てます。(公)</p> <p>社会の変化に対応できる子を育てます。(開)</p>	
中期目標	<p>家庭や地域と連携し、わが子を通わせたい学校づくりを目指します。</p> <p>確かな学力と豊かな心・健やかな体を育むために、知・徳・体のバランスのとれた教育課程を編成します。</p> <p>閉校と新校開校に向けて、地域・保護者・中学等との連携を大切にします。</p>	
目標設定の理由	<p>「ありがとう・さようなら大池」を合い言葉に教育活動一つ一つに丁寧に取り組みながら、充実感溢れる最後の1年間としていきます。そのためにも、教職員の共通理解を図りそれぞれの良さを活かしてチーム力で取り組むことで、目標を達成していきます。</p>	
共通取組内容		取組目標
児童生徒育成	人間形成 知・徳・体・公・開 で示す子どもの実現	<p>道徳の時間等の充実を図り、規範意識や物事の善悪をきちんと判断し人権を尊重する心を育てます。また、地域行事や赤ちゃん教室に参加する中で、相手を思いやる心や社会に役立つ行動をする姿勢を育てます。</p>
	学力形成 学力向上アクション プランの推進	<p>一人ひとりの児童が分かる・楽しい授業を目指して授業力向上のための研究・研修内容を充実させます。また、これまで継続してきた音読・漢字・計算・辞書活用など基礎・基本の習得と共に、日々の授業の中で言語活動を充実させ思考力・表現力を育てます。家庭と協力して家庭学習の習慣化を一層図り、学校への信頼と満足度を高めます。</p>
小中一貫教育推進 ブロック内での取組		<p>上白根中学校・ひかりが丘小学校との3校連携を一層充実させ、交流をとおして授業改善と学力向上・児童理解に努めます。特に特別支援教育と小中連携のSCやSSWとの連携を工夫していきます。</p>
校内人材育成 の取組		<p>それぞれの教職員が専門性を活かし、互いの学級経営や授業を見合いながら自他共に授業力・教師力を高めていきます。</p> <p>主幹教諭を中心に、経験の少ない教職員の教師力を育てていきます。</p>
重点取組分野		取組目標
	教育課程・学習指導	<p>知識・技能の習得と思考力・表現力育成のバランスを保ちながら楽しくわかりやすい授業を工夫し、一人一人の児童に学ぶ楽しさと確かな学力をつける指導方法を工夫します。</p> <p>市学習状況調査や定期的な実施する校内の音読調査などにより児童の実態を把握し、個人差に応じたきめ細かな指導に努めます。家庭学習の習慣化を一層図ります。</p>
	児童・生徒指導	<p>児童支援専任教諭を中心に、教職員全員で共通理解のもと児童指導にあたります。規範意識を育てると共に、自尊感情を育てていきます。</p> <p>言葉10か条を児童に意識させながら、温かな人間関係づくりに努めます。</p>
	その他 閉校と新校開校	<p>児童・教職員・PTAが計画的に交流をすすめ互いの理解のもとスムーズな移行を目指します。</p> <p>新校の教育課程を2校で一緒に作成します。学習活動の発表の場を増やします。</p> <p>学校・地域やPTAOBの方を中心に「大池小感謝の会実行委員会」が閉校事業を実施します。</p> <p>新校で実施する「小中連携ひかり本部」の地域連携事業に今年度より取り組みます。</p>

中期学校経営方針における10の取組分野

取組分野		取組目標
1	教育課程 ・ 学習指導	重点取組分野で設定のため記載なし
2	進路指導	地域の方(赤ちゃん教室を含む)や学習ボランティアとの出会いをとおして、自分の将来の姿に夢を描けるような授業や行事等を工夫します。
3	児童・生徒 指導	重点取組分野で設定のため記載なし
4	保健管理	学校だよりや保健だより・学級指導をとおして、早寝・早起き・朝ご飯の習慣化を図ります。また、健康教育推進のため、担任と共に養護教諭が保健学習に取り組みます。児童の体力向上と自己の健康管理能力を高めます。
5	安全管理	危機管理マニュアルを整備して、教職員の共通理解のもとで事故・事件や災害発生時の適切で迅速な対応ができるようにします。 児童の安全な登下校のため、地域の見守り隊に協力をお願いします。
6	特別支援教育	特別支援教育推進のための課題を明確にし、校内支援体制づくりと関係機関との連携やSC SSW 非常勤講師との連携をさらに充実させます。 特別支援教育の個別計画を保護者と共有し、さらに充実させていきます。
7	組織運営	主幹教諭を中心とした組織の中で、教職員一人ひとりが自分の役割を自覚し提案型組織となるようにします。 円滑な組織運営となるよう、情報の共有や組織的な取り組みができるようにします。 学校図書館活性化推進校として、読書の日常化と言語活動を充実させます。
8	教職員の 研究・研修	重点研究で全員が研究授業を行うことや、職員研修をとおして授業力向上と教師としての資質の向上を目指します。 メンターチームを5年次までの教員を中心に組織し、主幹教諭が中心となって指導助言にあたります。
9	保護者・地域 住民との連携	5月の学校説明会で学校経営方針等を説明し、年度末には学校評価結果の報告をします。 学校懇話会を年2回以上開催し意見を真摯に受け止めます。 大学生や図書ボランティア等地域の教育力を積極的に取り入れます。
10	教育環境整備	新校に向けた改修工事の中で、落ち着いて安心した学校生活を送れるようにします。また、毎月の学びの環境の安全点検と迅速な対応をします。 教職員と児童で、省資源化・ごみの分別やエコキャップ運動を継続します。 太陽光パネル設置に伴い、環境教育を進めていきます。
11	その他	重点取組分野で設定のため記載なし